

第3回 「知事と語る やまなしづくり」結果概要

堆砂が著しい雨畑ダムの上流部では、台風19号により交通の分断や浸水被害が発生するなど、住民生活に甚大な影響が生じました。事態の深刻さと今後の対応の重要性を考慮し、知事が現地の状況を自ら確認するとともに、本村地区の住民の皆さまと意見交換を行いました。

【日時場所】 令和元年11月27日(水) 午後4時から 本村公民館(南巨摩郡早川町)

【対話相手】 本村地区住民 30名

《本村区住民の主な意見等》

- ・台風が来ると、想像以上の水や土砂、流木が流れてくる。道路沿いに高い防波堤を造って、安心して住めるようにしてほしい。
- ・雨が降るたびに逃げる心配をしなくてはならない生活である。逃げるにはそれなりの支度も必要となる。
- ・国への要望活動を素早くしてもらい感謝している。

《知事(県)の主な発言》

- ・台風19号による県道の分断が地域の孤立化を招いてしまったが、皆さまが一刻も早く元の生活に戻れるよう、県道の復旧作業を最優先で行っていく。
- ・ダムの管理者に対し、企業の最低限の責任を果たすよう、これまで以上に強く申し伝えていく。
- ・ダムの監督権限を持つ国に対しては、抜本的な解決に向けた行動について、引き続き強力に要請していく。
- ・かつての美しい渓谷を取り戻していくため、住民の皆さまと力を合わせ取り組んでいく。

